

日近の里

歴史ある日近の里！



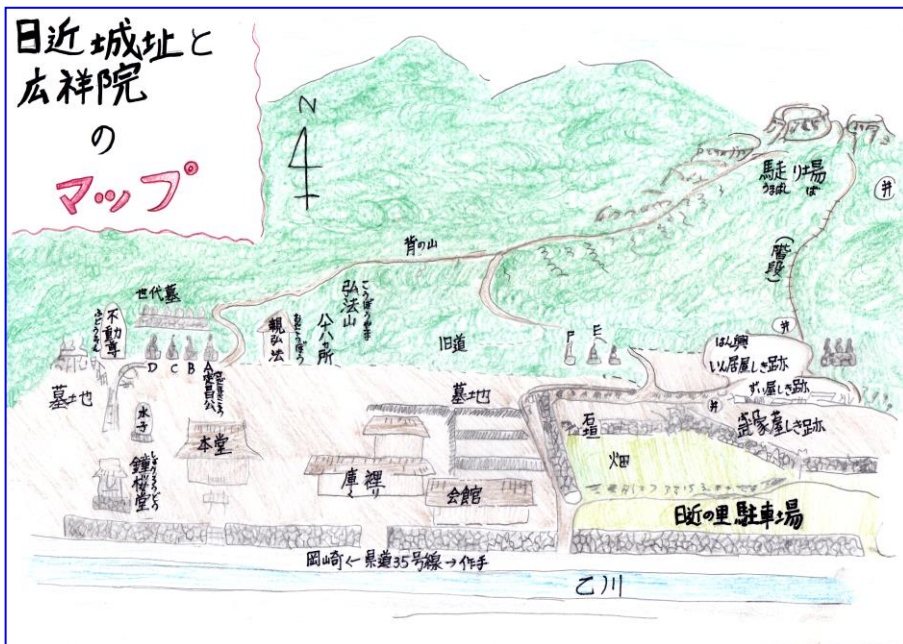
▲日近の里の頂上からやや降りたところから見た桜形町の風景。

古くは日近郷<ひちかごう>として栄え、720年以上の歴史がある日近の里。日近城址や広祥院<こうしょういん>、自然景観の美しいかおれ溪谷など周辺一帯を日近の里といいます。

日近城は、奥平3代貞昌が、1478年に築城しました。当初は、名之内城<なのうちじょう>といわれていました。日近城址の標高は400mです。日近城址には「弘法さん」が88カ所あり、それをめぐるコースがあります。また、仙代丸・貞子姫・於ふう（おあわ）の墓があります。かつては、日近学校と呼ばれた現在の形埜小学校の前身の学校や、現在は駐車場になっているところに武家屋敷などもありました。日近城址は、岡崎観光きらり百選にも登録されています。

広祥院は、1296年に足利尊氏に縁のある稲荷女房（稲荷姫）が尼さんとしてやってきたことや、1339年に足利家の執事の高師氏・師重が建立したことが由来とされています。その後、1469年、奥平貞昌が広祥院と改め奥平家の菩提寺としました。広祥院の本尊にある地蔵菩薩坐像の体内には、延命地蔵菩薩像がありますが、それは非公開となっています。

ぜひ、日近の歴史を体感しに来てください。



対決！日近合戦！

日近城を築いた奥平貞昌は、次男の奥平貞直を初代領主にしました。貞直はそのころ三河地方に勢力をもっていた今川義元に属していましたが、一五四〇年代に織田信長側につきました。一五五六年に貞直が今川配下の秦梨城を攻めたことにより、今川氏が怒って家来の松平氏に日近城を攻撃させたことで日近合戦が起きました。奥平貞直は苦戦しましたが、城の地形を生かしてよく防ぎ、松平軍を撃退しました。

空を泳ぐたくさんの鯉！

日近城址の場所で毎年4月の第三土曜日から、5月の第二土曜日の約三週間の間、たくさんの鯉が空を元気よく泳ぎます。なんとその数約120匹。実際に見てとても迫力がありました。また色も、模様もたくさんの種類があり、とてもきれいです。その鯉のぼりは各家庭でいらなくなったものを寄付してもらったのを再利用しています。

初日には、しし汁を配ったり、日近太鼓の力強い演奏が行われたりして、とても盛り上がります。日近太鼓は小さい子から、ご年配の方まで参加して演奏しています。

駐車場もあるので遠くから来る人も安心してくることができます。近くの道路からでもたくさんの鯉のぼりが見ることができるので、4月中旬～5月上旬に近くを通ることがあったらぜひお立ち寄りください。



▲4月中旬 日近の里に舞う鯉のぼり



▲4月中旬 ふもとを流れる乙川に咲く桜

日近の里の四季

日近の里は、春、夏、秋、冬の景色を楽しむことができます。

春	満開の桜、空を泳ぐ約120匹の色とりどりの鯉
夏	きれいな乙川、美しい緑の森林
秋	乙川の両岸にあるイチョウやモミジの紅葉
冬	真っ白な雪



▲11月下旬 ふもとを流れる乙川の紅葉

日近城址を登ってみると...

私たちは、地元に住む吉口照波さんといっしょに日近城の跡を目指して登ってみました。いろいろなところに曲輪<<まがしほ>>があり、敵を見張ったり城を守ったりしやすいように工夫されていました。景色はとてもきれいでした。私たちの学区に歴史ある山城があることを誇りに思いました。



←日近城址
頂上にある
秋葉信仰の
ほころ



←登る途中、
ところどころ
に看板があっ
た



▲頂上まで登った6年生

基本情報

所在地		岡崎市桜形町
交通機関	(1)東名高速道路岡崎 IC から車で40分 (2)新東名高速道路岡崎東 IC から車で25分 (3)東岡崎駅→名鉄バス「桜形」下車(60分) →徒歩15分	
駐車場	有	
電話番号	広祥院 0564-84-2040	

かおれ溪谷

みんな大好きかおれ溪谷！



▲秋のかおれ溪谷 モミジやイチョウが、赤い橋と相性がよく、とてもきれいです。



▲川遊びをする子どもたち 乙川のきれいな水の中に入り遊ぶととても気持ちいいです。

色とりどりの四季

かおれ溪谷は、四季の移り変わりがとてもすてきです。春夏秋冬それぞれの美しい景色が見られます。

春は、桜の花が咲き、その花びらが**ひらひら**と舞い落ちます。桜が満開になったときは、私たちの心にも花が咲いたように笑顔になります。**夏**は、清流がすてきです。暑い日には、川で水遊びや水浴びをし、すずむことができます。また、緑の葉に風が吹くと、**さわさわ**とすずしげな音がして、気持ちのよい風を浴びることができます。**秋**は、何ととっても紅葉です。いちょうやもみじが、きれいに色づき、**はらはら**と散ります。紅葉が川に映りきれいです。**冬**、雪がたくさん降ったときは、山にある木々が雪化粧をします。日が当たると、雪はとけてしまいますが、とける前は**きらきら**と光り、きれいです。

みなさんもぜひこの四季を体験しに来てください。

春はひらひら！
夏はさわさわ！
秋ははらはら！
冬はきらきら！



▲5月のかおれ溪谷 日近の里を舞う鯉のぼりを見ることができます。

かおれ溪谷 全体マップ

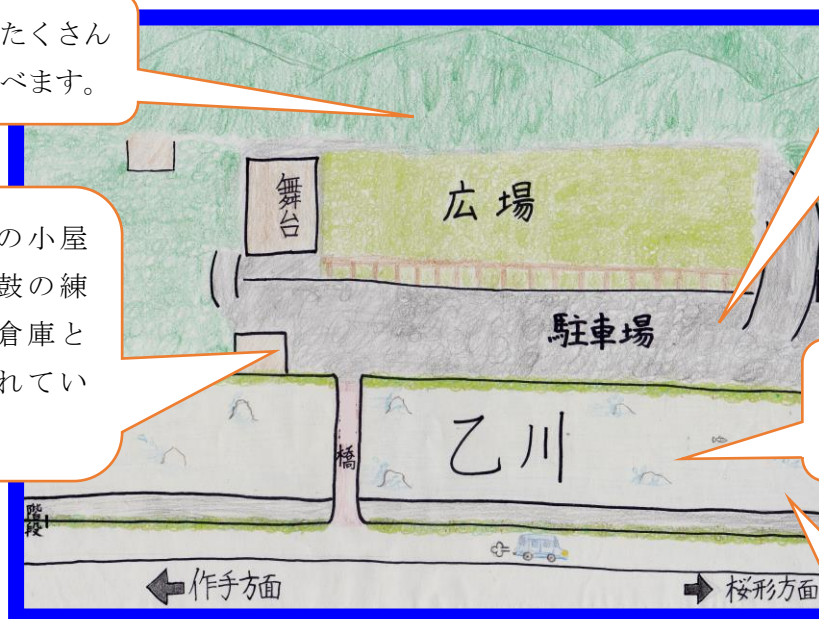
広場では、たくさん
のことで遊べます。

駐車場横の小屋
は日近太鼓の練
習場所や倉庫と
して使われてい
ます。

10台くらい入る
駐車場があります。
(近くにある日近
の里駐車場も利用
できます)。

夏には乙川で川遊び
ができます。

川辺の木は紅葉が
きれいです。



迫力ある日近太鼓

日近太鼓は、岡崎市・桜形町にある日近城と呼ばれる山城のあった場所、「日近の里」で生まれました。日近太鼓は、ここかおれ溪谷を本拠地とし、練習をしています。

日近合戦やかおれ溪谷をテーマにした曲を力強く演奏します。太鼓を演奏する人は、大人だけでなく、子どもも演奏しています。

「日近の里は、人情厚き現代の別天地」とうたい、緑の山々が生み出す澄んだ水や空気を市内外にPRしています。



▲日近太鼓の演奏風景 子どもたちも演技しています。

ぼくが以前住んでいた街には森がありませんでした。川はありましたが、かおれ溪谷の乙川の水の方がずっときれいです。夏のかおれ溪谷はとっても涼しく、みんなで川遊びをしたとき、自然をたくさん感じる事ができて、とても気持ちよかったです。

ぼくの体験
と感想



基本情報

所在地	岡崎市桜形町
交通機関	(1) 東名高速道路岡崎ICから車で40分 (2) 新東名高速道路岡崎東ICから車で25分 (3) 東岡崎駅→名鉄バス「桜形」下車(60分)→徒歩15分
駐車場	有